

令和7年度 学力調査結果に基づく授業創造プラン作成について

児童のさらなる学力の向上を図るために、今年度実施した2～6年生の学力テストの結果等进行分析し、課題をもとに授業改善を図る授業創造プランを作成しました。

①学力状況の調査結果

令和7年度 全国学力・学習調査の結果 ※6年生対象

教科	本校	東京都	全国
国語	68	70	66.8
算数	60	64	58

本校の平均正答率は、国語は東京都、全国の数値を共に上回っている。算数は東京都の数値を下回っているが、全国の数値は上回っている。

令和7年度 総合学力調査（日野市）の結果 ※5年生対象

教科	本校	日野市
国語	67.1	63.7
算数	72.4	69.2

本校の平均正答率は、国語、算数共に市平均の数値を上回っている。

②学力状況からの分析

【国語】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域では、全国平均程度の正答率となっています。昨年度までの研究主題である「対話的な活動」での積み重ねの成果が出ていることが伺えます。
- ・一方「思考力・判断力・表現力等」を測る問題では、全国や東京都の平均正答率を下回っています。
- ・情報と情報とを関連付けたり、目的に応じて文章と図表を結び付けたりする力に課題が見られます。

【算数】

- ・「データの活用」、「表やグラフの用い方」の領域では、市の平均と同程度、または数ポイント上回っています。
- ・基礎的な計算力は全国平均と同程度の正答率です。
- ・「思考力・判断力・表現力等」を測る問題では、全国や東京都の平均正答率を下回っています。
- ・特に記述式の解答形式での正答率が低く、文章を正確に読み解く力、そしてそれを自分の言葉で説明する力に課題が見られます。

③分析を受けての授業改善案

以上の結果から、本校では、以下のことを意識して、授業改善を図っていきます。

- ・自分の考えを表す際には、「初め・中・終わり」の順序や話の中心や目的（理由・根拠）を意識するように指導をしていきます。また、考えを共有する時間を設け、様々な考え方や表し方に触れられるようにします。
- ・文章を読み、場面を想像したり、文章の構造を示すようにしたりすることで読み取る力を高めていきます。さらに文章を要約する練習を通して、文章から要点や事柄を的確につかむ力をつける指導をします。
 - 物語文や説明文を読む際には、文章構造や場面の様子を正しく楽しく学ぶことで、文章を読み取る力を高め、文章への関心を高めていきます。
- ・書く力を高めるために、書き方の手本を示し、書く事への困難さを軽減します。可能な限り授業の中で自分の考えを書く時間を設定し、話の中心や目的（理由・根拠）を意識しながら書くように指導します。
- ・問われていることを明確に捉えられるよう、声に出して文章を読み、課題解決を図れるようにします。
- ・図や線分図を活用して、抽象的なものを図や線分図で具体的に表現することで、問題の内容を理解しやすくします。
- ・ICT 機器を活用し、様々な場面で学んだ知識を活用する機会を増やしていきます。
 - 様々な場面で I C T 機器を活用することで、探究的な学びや個別最適な学びを促進していきます。